

# 進路指導部だより

2021年4月号

## 【1】 42期生の進路状況

42期生				経年変化			
	男子	女子	計	40期	41期	42期	43期 (希望)
四年制大学	12	8	20	32人	17人	20人	32人
AO入試	2	2	4	16.5%	8.5%	9.9%	16.8%
指定校推薦入試	6	4	10				
公募制推薦入試ほか	4	0	4				
一般入試	0	2	2				
短期大学	1	9	10	11人	9人	10人	8人
AO入試	0	4	4	5.7%	4.5%	4.9%	4.2%
指定校推薦入試	1	5	6				
公募制推薦入試ほか	0	0	0				
一般入試	0	0	0				
専門学校ほか	16	67	83	53人	74人	83人	65人
AO入試	12	56	68	27.3%	37.2%	40.9%	34.2%
指定校推薦入試	2	6	8				
公募制推薦入試ほか	1	2	3				
一般入試	1	3	4				
就職	29	20	49	72人	75人	49人	85人
学校紹介	21	16	37	37.1%	37.6%	24.1%	44.7%
公務員	1	0	1				
縁故・家業・一般	7	4	11				
その他	11	30	41	26人	24人	41人	
浪人	2	2	4	13.4%	12.1%	20.2%	
就職活動継続	0	0	0				
一般求人にて求職	4	7	11				
フリーター（アルバイト）	5	18	23				
進路未定（家事手伝い等）	0	3	3				
合 計	69	134	203	194人	199人	203人	190人

進学決定率	94.2%	決定者113÷希望者120
学校紹介就職内定率	100%	内定者37÷希望者37
進路未決定率	20.2%	その他41÷全体203
フリーター希望率	11.3%	フリーター23÷全体203

43期生学校紹介希望者68名（35.8%）

## 【2】進路指導の方針

---

### ◇2021 年度の方針

- 1 進路選択に向けて、1 年次から計画的に進路学習を実施する。
- 2 就職指導は主に進路指導部就職係による一斉指導を中心にを行い、進学指導は主に3年担任による個別指導を中心に行う。
- 3 進路指導部と担任団との連携をはかることで、就職指導と進学指導をより充実したものに、生徒一人ひとりの進路の実現を図る。

### ◇進学指導の方針

- 《傾向》
- 1 専門学校はAO入試で受験する生徒が多い
  - 2 大学・短大は指定校推薦で受験する生徒が多い。
  - 3 指導期間が長期化（総合型選抜（AO入試）・学校推薦型選抜・一般選抜）。
- 《対策》
- 1 2年3学期からガイダンスを開始。
  - 2 1、2年から学校調べをおこなうように指導。  
特に、新3年生の進学希望者には、オープンキャンパスへの参加、もしくはインターネット等での学校調べを春休みの進路課題とした。
  - 3 3年の個別相談会と総合型選抜（AO入試）対策講座をエントリーまでに実施。
  - 4 早めに志望校（少なくとも志望学部学科）を決定させる。  
・受験の機会を多くすることが可能になる。
  - 5 総合型選抜（AO入試）や指定校推薦等に向けた面接指導の実施。
  - 6 各学年と連携し、1年次から進学希望者に模擬試験を受験させる。

### ◇就職指導の方針

- 《傾向》
- 1 就職希望の生徒が多い状況が続いている。
  - 2 企業の求める人材の多様化（学力、元気さ、コミュニケーション力等）。
  - 3 生徒が希望する求職条件が限定的（自宅から近い・給料が高い・休みが多い）。
- 《対策》
- 1 学年団の協力等を得て、学習会や面接指導の充実化を図る。
  - 2 企業とのミスマッチをなくす（応募前職場見学の充実）。
  - 3 面談などで生徒の希望をくみ取り、求人を紹介する。

### ◇進路未決定者を減らす取組み

- 1 進路のしおり（保護者版）を懇談の際に配付し、1年次から、家庭でも進路について考えてもらうよう促す。
- 2 3年4月と5月の説明会において、進路希望未定者や自己で就職先を探すことを希望する生徒を対象とした講座を設けて、進路決定への意識を高めさせる。
- 3 外部機関（ハローワーク、就業支援センターなど）と連携し、自己で就職先を探す生徒や就労支援の生徒への指導を充実させる。